

リムノス、サモス、イカリア
ギリシアの島々を巡る旅

2010.9.15-9.24



島に行きたひっ！

2010年7月にイースター島他で見られた皆既日蝕を覚えていますか？天文関係も大好きなワタクシ。イースター島までは行けないけれど、その西側にあるマンガイア島で皆既日蝕を拝む予定でした。

しかし出発1週間前になって突然「島に渡る航空機の手配が出来ていない」と連絡が入り、替わりのコースでは都合がつかずに断念せざるを得ませんでした。

それがすっかりトラウマになってしまって…。(苦笑)「夏休みには島に行くぞー！」→「島って言ったらギリシアだろ」→「未見である世界遺産の遺跡へ行こう！」と行き先決定。

丁度、首都ではストやデモが多発していたこともあり、島オンリーのルートを組んで、旅行会社に航空機の手配をお願いしました。これが7月末。

8月に入るとユーロもどんどん値を下げていったので、ここぞとばかりに最初に滞在予定の島のホテルをネットで予約。酷い猛暑で身体は疲れてはいるものの、旅をエサに気分を盛り上げていきました。

そして…

2010年9月14日火曜日。いよいよギリシアに向けて出発です。

午後半休を取って羽田空港へ向かいました。

おーっと！111円台まで値を下げていたユーロへの両替も忘れずに☆

■この旅に関するページ

旅ノ記憶 2010.9ギリシア・ぷちトルコ [ブログ版](#)

Photo Gallery [Greece sideN](#)

[Greece sideO](#)

初！スターフライヤーの便で関空へ。

黒が基調でカッコいい。

ただマイナー系な故かバスで移動。
だから乗り降りに余計時間がかかる。

今回も利用航空会社はトルコ航空。
関空では20時前にチェックイン開始。
その場では空いているように見えたけど、
実際に搭乗口2番に行ったらほぼ満席でした。

乗り換え乗り換え（2010/9/15水曜日）

5時半前にトルコのアタトゥルク国際空港に着陸。

待合室で見たアテネの気温22度？！

日本が35度近くと暑過ぎるのは分かっていたけど、
半袖ではさぶそう…。



イスタ-アテネ上空



イスタ-アテネ間機内食

9時45分にはアテネ着。

荷物を受け取ってからオリンピック航空のリコンファームして、
またまた反対側の端にあるトルコ航空まで。

こちらでは「連絡先を」と初めて言われる。

いや、本人も何処泊まるか決めてないから!?(爆)

なのであいぽんのメルアドを教えといた。

さてチェックイン。

おネエちゃん愛想いいね～！

さっきも驚いたけど、昔を違って心入れ替えたのギリシア人？ ← 酷
しかし荷物チェックが国内線なのにキビシー！
兄ちゃんはOKだったのに、オバちゃんが駄目。
水、飲み干しただよ。

ボンバルディア機だー！(汗)

機内ガラガラ。

やはり目的地がマイナー過ぎたか…。



アテネ-リムノス機

窓から見ると、ミロス島の時より高いトコロを飛んでる感じ。
機内から見下ろすと、緑の木陰が無い。日に焼けそうだ…。



ウエルカムドロップ(左)と アテネ-リムノス間機内食(右)



リムノス島上空

リムノスLimnosへは予定通りの時間に到着。
空港は空軍と兼用してる。
国境の島だからかな？



リムノス島はココ

今回は中1日で島の東半分に点在する遺跡を見たいので、
安宿の揃ってるミリナには敢えて泊まらず、
空港のすぐ近くの町ヴァロスVarosのホテルを予約しておいた。

1泊朝食付85ユーロと、高くて泣いたけどね。
(それでもユーロ安でよかた...)

[Varos Village Hotel](#)

え、ここ？ナニヤラ一般家庭のような博物館。
何でも、トルコ占領時代にパシャが使用していた
新古典主義建築のものらしい。

中身の方は、テラコッタ製の展示物が並ぶ落ち着いた雰囲気。
素朴なセイレーン像も沢山あった。



ギリギリ15時前に見終えて外へ。
しかし自分の居所が全く分かってません～(笑)

町の地図を思い出しながら、目の前に聳えるカストロへ。
でもこの時は登り口が分からず、
ぐるっと迂回して南側の湾へ出てしもうた。



町中を歩くが、インフォメも閉まってるし活気が無い。

しかも暑いので、海岸線に沿って一回りした後は、湾に面した広場でフリーのWi-Fi拾ってツイート。



広場にて

午後4時半。少し人が増えてきた。
そっか！今まで皆シエスタだったんだ。

再び町中を歩いてみたところ、カストロ案内板はっけーん！
さっき野良鹿が居たトコロを登って行くのだった。



カストロの門番

30分くらいかけて頂上へ。
これ迄見たギリシアのカストロの中では一番広いかも。
残ってる部分もかなりある。

後で知ったが、天気良ければアトス山も拝めるそうなの。
凄い！

[カストロから](#)[動画]

夕焼けにあわせて帰還。

タクシー乗り場が分からなくて聞きまくり！

カストロ案内板が出てた小道を、ひたすら進んだトコロだった。

海岸からは随分と離れてる。

ヴァロスに戻って来て、少し町を散歩してからウゼリで夕食。

「ウゼリ」って名前から想像される通り

「ウゾ」を片手にちびちびやる“飲み屋”に近く、
女性一人では近づきにくい感じだった。

でもココはホテル御用達のお店なので気兼ねなく使える～

アルコールが無くても「酒のつまみ」さえ有ればしゃーわせな私。

初めてのウゼリにワクワクしとりました。(笑)

今日のスペシャルプレートとマリネを頼んだつもりだったのに、
何故か後者だけで片付けられた。

前にもあったな、サモトラキで。(笑)

ま、旨かったし、腹八分目なので良しとする。





夕食を終え、フロントでWi-Fiのパスワードを聞いたら、夜担当らしいおいちゃんが何かと世話を焼いてくれる。観光案内を日本語翻訳にかけて印刷までしてくりたよ。

暫くそこで寛いだ後に部屋へ向かう。
歩きながら空を見上げると星がべかべか！
さすが空気が綺麗なトコロは違う。
早速iPhoneの星座アプリで楽しんだ♪

緑が少ない島なので覚悟していたが、
案の定水道水が塩辛い。
そして何が原因か鼻アレルギー気味。

なのにアルコールを摂取したから、
余計に鼻が詰まってぐるじいー←おバカリムノス島にもブタクサがあるのでせうか？

リムノス島内遺跡巡り（2010/9/16木曜日）

時差のせいで、ちょっと早めの6時に目覚める。

朝食は昨晚のウゼリにて。

「8時から」とフロントで聞いたが、バイキング形式なので準備に結構時間がかかったw



遺跡巡りツアーの出発は10時。

あ、昨日の運ちゃんだ。このホテルお抱え運転手？

車で20分程走ったところで到着。



ヘファイスティア入口

まずはヘファイスティアHephaistiaから。

その名の通り、この島の守護神である

鍛冶の神ヘファイストスの聖所などがあるという。

うおっ！こんな整備されちゃってるとは。
砂岩(?)の赤っぽい岩岩が特徴的な劇場跡。



ヘファイスティア劇場地図

鍛冶神と演劇が結びつかないのだが...
本拠地では、当たり前なのかなあ？

上まで登って見て回ったけど、
他の祭壇とかアゴラとかは全然分からなかったなあ。

向かいの岬にはカベイロイっつーより、ホテル群が見える。
大きく迂回するので15分くらいかかって到着。



カベイロイ入口

入口のある高台から下っていくので青い海がキレーに見える！
しかし此方はサモトラキと比べると、ずーと小ぶり。

期待しすぎない方がよろし。

低めのドーリア式円柱が幾つか残っている場所は、
トラキアのアフロディーテを祀った神殿らしい。
「土着」っぽさを感じる？

再び南下してメインロードへ出る。そして東進。
島の最東端を目指すのだ。

プラカの町を抜けて海岸沿いへ。
風つよー！何度も帽子をとばされながら写真を撮る。
この岬、暴力的な草が多くてイタタタ。

でも天気が良かったせいか、
トルコ領のギョクチェアダ(ギリシア名：インヴロス)が見えました。

またまた今来た道に戻って行く。
左手に広がる湿地帯が光を反射してキラキラ光ってる。

今度は30分程かかってポリオフニ遺跡Poliohniに到着。
ここは他の観光客も沢山来てた。



ポリオフニ入口

ポリオフニは先史時代からの遺跡が
7層にも渡って存在しているそう。

復元された姿を見ると、

かなり細かく区画整理がされてたみたい。

部屋の名前も所々分かっている様だ。

そして印象に残ったのが、こんな北の島なのに、

ぶっといパイナップル風の木が何本も並んでたこと。

そして“しだれ松”。 ↓





[ポリオフニ遺跡と海](#)[動画]

ツアーは3時間強で完了。

あちー！部屋に戻って昼食作りがてら洗濯にシャワー。



本日の遺跡巡りルート

あ、お湯スイッチ間違えてた...Σ (°д°Ⅲ)
道理で昨夜はつべたかった訳だ。

食後は事務的なものを片付けてシエスタ。
5時迄惰眠を貪る。

頭がボーとしてるので、それから1時間かけて準備。
日差しが弱まったので、街中探検だ！



ホテル外壁 ロドス島の騎士団通りっぽい？

明日の朝早く出発するので、まずは宿泊料金を現金で払ってしまう。
そして空港へのタクシーの手配もして貰った。
6時半に部屋まで来てくれるって。

ヴァロスって小さい...。

30分も散歩してたら、ほぼ見終わるサイズ。

グーグル地図片手にしてたので、

超方向音痴の私でも迷わずに済みました♪

気温はそれなりにあっても日本と違って湿度が低いから

「汗ダラダラ」の不快感とは無縁です。

でも流石に喉は乾いた～



フロント前の広場を眺めながら夕涼み。

20時頃にウゼリへ。

今日は2皿がばるよ！

リムノス島特有のものを選んでみました。

ポテトのリムノスチーズ乗せと、エビ。

エビは、アンモニアの様な刺激臭が有る。

今獲れた物ではないので、

クサヤみたいに保存する過程で発生した臭いかも？



ワインも、注文した以外にサービスで、
甘口のリムノスワインお猪口サイズで頂きました。



おこぼれを狙って集結しているにゃこにエビ頭部をあげたら、
しっかり食べてました。猫もクサヤ平気なんだ！？



ぷふぁ～満足満足。腹ごなししてから部屋へ。
昼間あんなに寝たにも関わらず、ガイドブックを読みながら寝落ち。
時差ボケのせいなのか、
それともギリシアペースに染まってしまったのか...？(笑)

サモスSamos島へ（2010/9/17金曜日）

凄い！予定時間より前にタクシー到着。

ギリシアとは思えない！←オイ...

100キロで飛ばすから、すぐに空港到着。

3日間、専属運転手と化していたおいちゃんに感謝！

さて、チェックイン。

ホテルでガイドブックをお土産に貰ってしまい、

現在の預け荷物8.7キロに成長しました。

荷物はサモスまでスルー。

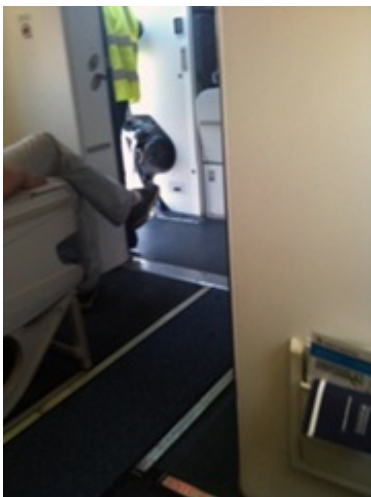
オリンピック航空成長したな...←偉そう

預け荷物なのに、自分でX線のトコ迄持って行くのだ。

セキュリティチェックも、搭乗5分前にならないと開かない。

今日の便を見てみたら、オール3番ゲート。

これなら充分間に合うか。(笑) ちっちゃい空港素敵w



2C席でした



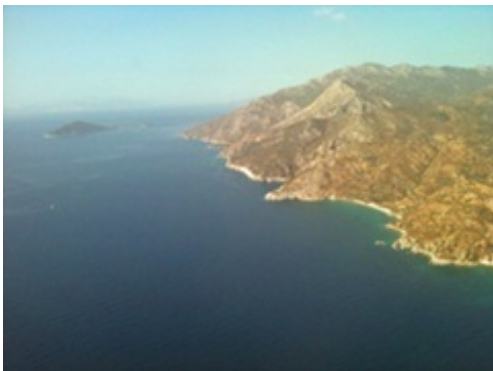
リムノスーアテネ間機内食

アテネへは9時前に着いちゃって暇してた。
サモス行きの機はリムノスからと同じDHC-8-400。



アテネーサモス間機内食

島を南から見ると緑が多く感じる。
これならお水も塩辛くないかも！



空からサモス島

空港を出ると、南側に黒っぽくトルコの島影が見える。

ヴォーダフントルコの電波をキャッチ！
ホント近いんだなあ～



サモス島ってココ

で、サモスに到着してから1時間。
クテルのバス来ない。

更に14時半過ぎ迄待ってもバスは来なかったので、
タクシー使って首都ヴァシ(サモスタウン)へ。
窓から吹き込んでくる風が心地よい♡

インフォメで宿情報を貰うつもりだったのだが閉まっているらしい。
先程、空港にてバス待ちの間に
ツイッターで教えて貰ったホテルに向かうことにする。

[Pythagoras Hotel](#)

『ロンプラ』に“おススメ”とあったので
「スレてると嫌だなあ～」と思っていたが、
オーナー親子揃ってニコニコ迎え入れてくれて一安心。

4泊するので、少しだけ料金を割り引いてもらった。

残念ながら部屋は海側でなく道路側。
空調が無いので寝苦しい思いもしたけど、
今夏の日本の酷暑を乗り越えた身には「へんっ！」って感じ。

ただ早朝のゴミ回収車の騒音が凄まじいので、
その時点で窓は閉めてた方が無難デス！

部屋に荷物を置き、明日のトルコ一日観光の船を探しに再び町中へ。
ついでに [I.T.S.A. Travel](#) で、
興味があったイカリア島への船便のことも尋ねるが、
混んでもいないのに「日帰り可能？」「無理」とすっげー素っ気ない。

明後日以降のことは明日の観光を終えてから考えることにして、
当初の目的クシャダス行きチケットを頼んだら、
途端に愛想が良くなる兄ちゃん。

手続き上必要なパスポートを出したら、
「おお、日本人か！」と更にご丁寧になる。
前に来ただけかが何かやったのか？
...ってか、それまで何人だと思われてたんだオレは？(苦笑)

無事船のチケットを手に入れた後は、
フリーのWi-Fiが拾えると書いてあった、ライオン像のある広場へ。



ホントに飛び交ってるヨ！？
いやぁ～ネット出来るって、旅先では便利デスね～

今迄はプリペイド携帯だったので、
海外に出たら音信不通・情報遮断状態。
前もって色々印刷して持って行く準備が大変だったのだ。

でもココのベンチ、ドングリサイズの実が落ちてきたりするので、
ご注意ご注意...

陽が傾くまで広場で寛いでからホテルに戻る。
ホテル1階にあるレストランでは、
おばあちゃん手作りのギリシア家庭料理が食べられるとあって期待大。

シーフードスキーなもんで、イカの唐揚げを頼むが、売り切れ。
↑ギリシアではよくあるw
で、今日のオススメに変更。

「お肉かぁ...ううむ;;;」だったけど、嬉しい誤算。
まん丸玉ねぎまでとろとろ〜♪
あつつ熱マッシュルームスープと並んで、ウマーな夕食でした♡



パンも、トウモロコシ入りなのかな？
ほんのリクリーム色してる。
煮込みには、シナモンも使っているので、香ばしい！
家庭料理万歳〜！！(笑)

クシャダスinトルコ 1日観光 (2010/9/18土曜日)

「8時に港に来るように」と旅行会社で言われた。

「朝食は7時から」というので、朝食付きでお願いしたのだが、もうすぐ45分になるのにまだ何も出て来ない。

8時直前「もういい！行く！」という素振りをしたら出て来た。
なんなんだあ～？

夏休みシーズンは過ぎたものの乗客は割と多め。
お歳を召したご夫婦が多いのと、景色を見ていたくて、
ずっと海を眺めながら立ってた。
キレイだなあエーゲ海は♪

[クシャダス→サモス船とすれ違う](#)[動画]

20年前に滞在してた“クシャダス”(旅行記)の面影は既に無く。
入港した時に並んだクルーズ船の巨大振りに驚いた。
なんせ縁無いから...(^^;



RubyPrincess号

さて、上陸。
入国税を徴収され、パスポートと引き換えに番号札を渡された。
一日観光の人は、帰りにこれを係員に渡して
パスポートを返してもらうとのこと。

港を出るとイキナリショッピングセンターなんね。
お店のおいちゃんからナザールボンジュを貰う。
お守り代わりに襟に付けてイザ！



港近くのジャミイ

他の町まで行くとバタバタしそうなので、
町中で過ごすべく地図を貰いにインフォメへ。
...(汗)まーぢー！？土日はお休みだと。
ガイドブックの地図、持ってくれば良かった...orz

気を取り直し「迷っても、海に出れば何とかなる！」と町中へ。
...と書きつつ、余りに内部に入り込んでしまい、
グーグル地図のお世話になったのだが。(苦笑)



“お約束”のアタさん像

朝食を5分で慌てて食べたので、12時前だというのに空腹を感じる。
両替商でトルコリラに換えてから商店街へ突入。
早い夕食もトルコで済まそうと(笑)、昼は軽めにケバブ行くぜい！

飲み物はアイラン♡

全部入り牛肉ケバブ5リラと、アイラン1リラの昼食。

くうー！やっぱトルコ小麦製品さいこー！

その後パン屋さんでピデを買い出ししてもうた。



ハティジェ・ハヌム・ジャミイを見学させて貰ったり、

またまた高台に登って景色を堪能したり。

(『歩き方』に載ってたステラ・オテルからの景色ってば素敵だね☆)



ステラ・ホテルからの眺め

その後はギュエルジン島でノンビリ過ごす。
突然やって来た真っ白ニャコちゃんに遊ばれたりもした♪

残念ながら、戻る時間になっても空腹にはならず。
なので海岸沿いの店でイカとエビを
「パケティ」にしてもらってお持ち帰り。

魚介類の唐揚げなので匂いぷんぷん。
出入国の係員に「魚か？」と聞かれたおw

あ、出港用の建物にはトイレ無し。
出国審査前に済ませませうね。

6時半にはサモス港着。
EUの客が多いので、唯一のアジア人は、即出られた。



ハイティーマのつもりで用意して、いざパケティを開けたらやられた！
イカしか入ってない！！

「軽いなあ」とは思ったが、14.5TL支払ったので、そこまでやるとは...。
しかもトルコ語で会話してたのにい！
クシャダスに行かれる方、港に面した食べ物店は避けませう！←力説

悔しいし量も少なめだったので、お腹が減ったら
ホテルの今夜のスペシャルミール「魚」を食べに行くつもりだったけど...
22時過ぎたらやっと空腹感きた。

でも今から重いものを食べるのはちょっと。
賞味期限切れで持って来たインスタント雑炊に変更。

外の気温は26度らしい。
その程度なのに、扇風機つけっ放しの軟弱者に成り果てた。

...でも夜半から二時間半停電してたな。
原因は何だったのだろうか？



サモス～クシャダス航路

サモスSamos島内遺跡巡り（2010/9/19日曜日）

ノンビリしてて、8時半をとっくに過ぎた頃に朝食。

4ユーロの朝食で～す！ ←こだわる奴(^_^;



9時半頃出発。

日陰の近道を探しつつ博物館へ。匂いで分かったw



サモス考古学博物館

博物館の目玉・クーロス像は想像よりは小さかったが、通常サイズからすれば、確かにでかつ！



巨大クーロス像

「ちっちゃい博物館だなあ～」との感想を持ちつつ去ろうとしたら、向かいに建つ旧館らしい方に沢山の展示物が。グリフォンシリーズが凄いぞ。



これなら料金納得。
あ、博物館のトイレに便座はありません。紙はあるけど。

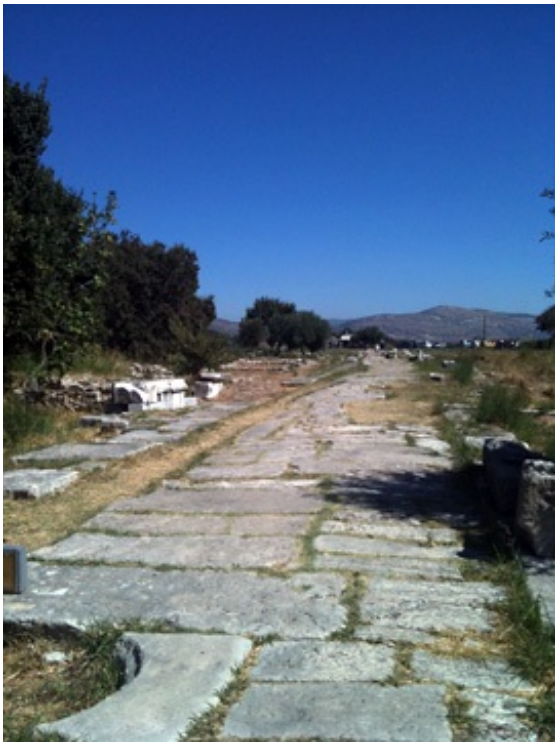
10時45分頃からバス停探し。
『ロンプラ』の地図にあったネットカフェでなく、魚屋さんでした。

11時だと思ってたバスが、日曜日は10時半発だった。(TT)
イカリア島へ行く為にも今日中に全て見て回りたくて、
またもやタクシー利用でイレイオンIreonまで。

「世界遺産」の割には“ちんまり”した敷地。レトゥーン規模か？



イレイオン入口



聖なる道



Geneleos一族の像があった場所



遺跡と航空機



ヘラ神殿 1



ヘラ神殿 2

季節的に草ぼうぼうで遠くまで見渡せず。
ただ空港のすぐ側なので、
遺跡と飛行機の“時代を超えた”写真が撮れるのが面白い。
敷地の端の方に細かい遺物がまとめてありました。

[イレイオンの地図\[参考\]](#)



イレイオンは空港の西側でっす！

運ちゃんには30分程待って貰い、
ピタゴリオン博物館前迄送ってもらった。
8キロ歩くのは流石にキツイもんな。

ピタゴリオンの博物館は無料だが、写真撮影はダメ。
1階より、2階の展示物が好きだなあ♪

大地の女神キュベレの野外聖所がメイン、かな？
そしてアフロディーテ神殿があるせいか、テラコッタに美女神が多い。
蛇(ヘルメス)崇拜レリーフなんかも有り。

そうそう、ここで腹が顔になってる(まるで“腹踊り”)Bauboという
デメテルの信奉者像を見てウケる。

今迄気がつかなかったなあ、こんなユニークな姿なのに。



ピタゴリオン考古学博物館



博物館周囲の遺構

さて、エウパリノスのトンネル(チュネル)Evpalinós Tunnelを見に行くか。
13時過ぎの炎天下、うなだれながら照り返しの強い舗装道路を歩く。

途中、左手にヘレニズム時代の邸宅跡はっけーん！
バックに広がる海がキレイ。
こんなところに住めたらいいね。



ヘレニズム時代の邸宅跡



もう少し頑張ると、分かれ道に看板が。
左側の道を行くとチューネルらしい。
閉館時間が決まっているそちらを優先。



分かれ道立て看板

ん？何か道に“落とし物”多し。

他にも穀物っぽいものが落ちて...あ、放牧してるのか！

ほのぼのした気分で先を急ぐ。

博物館から徒歩30分弱でチュネルに到着～



チュネル入口立て看板

ここはメガラ出身の建築家エウパリノスがカストロ山山麓に掘った水路跡。

1キロ以上の長さがあるんだって。

紀元前6世紀、山の両側から掘り始め、

貫通した時の誤差は40cm程度だったとか。

古代の技術力すげー！

入場料を払って入口の小屋へ。

外の暑さが信じられないくらい気持ち良い涼風が足元の穴から吹いて来る。

明るい所から入って来たので、最初は懐中電灯が要るかと思ったが、

ちゃんと整備してありましたよ。

某探検隊の気分になって、iPhoneで録画しながら進んで行く。

人が通る通路の遥か下にある水路が所々見えるので、

高所恐怖症の人は辛いかなあ。

おっ。3分程進んだ所で行き止まりでごわした。

鍾乳洞とか好きな私にとっては、とても面白かった～！

入場料の4ユーロって「高い...」と思ったけど、維持費考えればいっか？



チュネル行き止まり



鍾乳洞っぽいチュネルの天井

[エウパリノスのトンネル](#)[動画]

(縦で撮っちゃったから、頭を横にして観てね！)

この涼しさに後ろ髪を引かれながらも、再び炎天下に踏み出す。
先程の分かれ道まで戻ってから、
劇場に向けて道なりにひたすら進んで行く。

あづいし、登り坂だし、眺める景色が絶景なことが心の支え。
何度も小休止を取りながら30分近くかけて...って、
え？行き止まり！劇場どこ？！

ここ「地下がむっちゃ涼しい」と、タクシーの運ちゃんが言った
パナギア・スピリアニ修道院Moni Panagias Spilianisだね。
でもさっきチュネル見たからいいや。それよか劇場劇場。



修道院

今日は封印するつもりだったデータ通信を解禁。
グーグルマップで位置を確認したら...げっ、通り過ぎてる!?

脱力感に襲われながらも、今登って来た道を逆に下る。
ナニヤラ細い道がありますぞ！
進んで行ったら、ここが劇場。



劇場入口

看板のあった場所、右手にあった階段を登れば、すぐだったヨ。orz
その劇場、全体ほぼ板張り済み。座席もそう。
ただ背後の海がキレイ。



劇場跡

劇場の座席にて、暫し身体を休めた後でピタゴリオンに戻る。
このバス停の背後に位置するアフロディーテ神殿は、中に入れない。

バス停ベンチ下の日陰でにゃこが寝てたよ。
カメラを構えたら「写真撮るんですか？シャキッ！」って感じで起きてにじり寄って来た。(笑)



この町のインフォメも閉まっていた。
今時ネットで調べればイイから需要が減ったのだろうけど...

地図を貰おうと考えていたので、
ここでもネットのMap機能を利用せざるを得なかったヨ。
「海外パケホ」使える国でヨカタヨカタ...

ど根性観光ひとまず終了。

太陽様に焼かれて、スブラキになった気分だ。

...で、遅い昼食を16時に食べました。



本日のルート(北の方)

17時頃のバスに乗ってヴァシに戻る。

観光客で一杯な訳です。

タクシーは25ユーロ近くかかるところ、

バスなら1.5ユーロなんだもん。

ちんたら歩いてライオン広場で休みがてらネット。

それからホテルへ戻った。

た〜くさん汗をかいたので、

Mythosビールを飲みながら洗濯をする。←優雅？

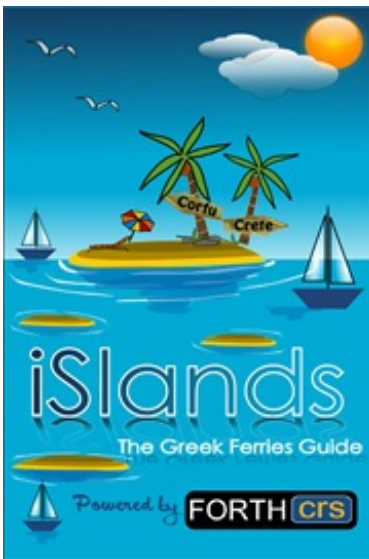
今夜のおばーちゃんの家料理はスタッフドトマト(トマトのイエミスタ)。
追加でサガナキ(チーズフライ)と、サモスブランデーを頼ってみた。
蒸留酒は悪酔いしないから良いのお～



予定変更（2010/9/20月曜日）

月曜日は博物館や遺跡は一斉にお休み。
昨日の内にサモス島内の見たい遺跡を見終えたので、
当初の予定を変更してイカリア島に渡る計画を立てる。
こういう時あいぼんちゃん助かるよ！

「iSlands」というフェリーの運行状況を調べるアプリ。
港の英語名を入れないとならないので、ちょっとコツが必要だけど。
（『ロンプラ』片手に検索）



その後 DANAE Greek Travel のサイトで再確認。
寄港地も分かるので、安心出来る。

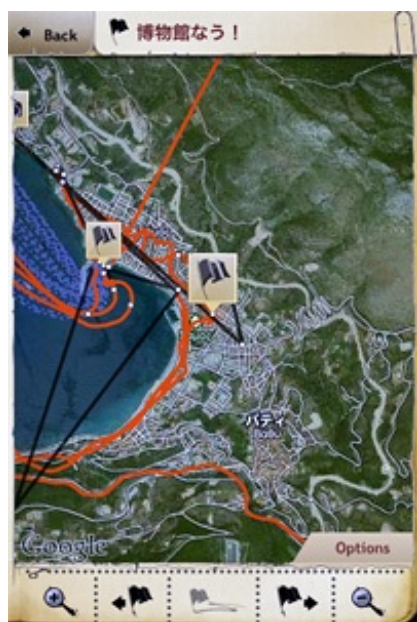
またまたノンビリ朝食を済ませてからビーチを確認し、
11時頃旅行会社 I.T.S.A. TRAVEL へ。

前もって調べておいたフェリーの時間と行き先を
紙に書き出して窓口で見せたので、
英語劣等生のオイラでも難なくチケットげと！

それから更に町を南下して、
サモスに戻って来た時に乗るバスの時間を確認。

復路はちょっと大きく東側に迂回散歩しながら

13時過ぎにホテルに戻る。



ヴァシ地図

昼食はピザの小さいの。

にゃこが頻繁に通るー 食べたいの？



ここ迄来て「遺跡焼け」だけでは寂しいので、

エーゲ海でちゃぶちゃぶしたいなあ。

ツイッターで色々アドヴァイス頂きまして、

15時にお隣のビーチへ。

うひっ！海岸の小石の上を歩くと痛いのは、

身体中がボロボロって事ねw ←足のツボ

海の中も大きめ石が敷き詰めてある。

藻でヌルヌルしてるし、突然深くなったりするので焦る～

でも「海で泳ぐの何十年振り」にしては浮かぶもんですな。

脂肪のお陰か？(笑)

そんな感じでちゃぶちゃぶしてるうちに薄雲が広がってきちゃって、
風も強めでさぶいさぶい。1時間位で退散。

なのに戻って来たら、また晴れ間が広がってる。

太陽神様、ワタクシのビキニ姿は

そんなにもヨロシクなかったのですね...シクシク(T_T)

泣きながらw水着とかを洗って、

涼しい風に吹かれながらテラスで事務処理。



テラスからの夜景

20時過ぎてから夕飯。今日はスペシャル無いみたい。

ネクターリキュールうんたらを飲み物に、

スブラキピタ2本セットを頼む。



イカリアIkaria島へ（2010/9/21火曜日）

船は13時半発なんだが、お掃除のお姉ちゃんが来ちゃったので10時半過ぎにはチェックアウト。

イカリア島の情報や、戻って来た時に宿泊予定のピタゴリオン事情なんかを検索して過ごす。町の地図が『ロンプラ』に無いから、ネットから情報収集が出来るiPhone様様だ。

13時過ぎ、車で港まで送って貰う。西洋人オールドかぼーと一緒に。同じ船みたい。

ギリシアだから、まさかもう船が着いてるとは思わなんだよ！
おおっ！でかいカーフェリーだぁ～

チケットに「93」とあったが、席番号かどうかも分からないから言われた通り上へ上へ。煙草の煙を避ける為に、ずっと甲板に居た。

[サモス出港！\[動画\]](#)

[フェリー出航！\[動画\]](#)

14時20分頃カロ・ヴァシKarlovasi到着！
面白い地形だなあ。



カロ・ヴァシを港を見下ろすお山の教会

寄港時間20分弱で出航。

15時半頃にはフルニFourni島に。



フルニ港

イカリア島へは予定より20分程遅れて到着。

アギオス・キリコス Agios Kirykos 港には

ギリシア神話に出てくるイカロスのモニュメントも在るよ。



イカリア島沿岸



アギオス・キリコス港

しかし...フェリーの上でも感じていたが、何この強風？
ワタクシでも飛ばされる位、風が強いデス。
こんな風の中、タイヤ部分が壊れたカート引きずって
何処にあるか分からないホテルの探すの嫌～！

で、たまたまホテルの場所を尋ねたおじーちゃん。
いきなり日本語で挨拶された。
亡くなった奥さんが日本人だったんだって！
京都に親戚が住んでるとか。

05年のパルガといい、このイカリア島といい、
ギリシアでは思いがけない所で日本語を話す男性に出会います。

『ロンプラ』で目を付け、ネットで確認しておいた
[Pension Maria-Elena](#) は、港のすぐ近く。

最初、一泊35ユーロと言われたが、
「ぐっ！」となったらあっさり30ユーロへ。うひっ♡

部屋は37号室。3階の向かって左から2番目のお部屋。
テラスからの景色きれ～！
でもフリーのWi-Fiはネットに繋がらないし、vfGRは圏外だし…。

ふと思いついてネットワーク系の設定を変えたら、
vfGRにやっと繋がった！
でも室内に入ると駄目になったり…。
ちょっとコツが必要なようです。

[ホテルからの風景](#)[動画]

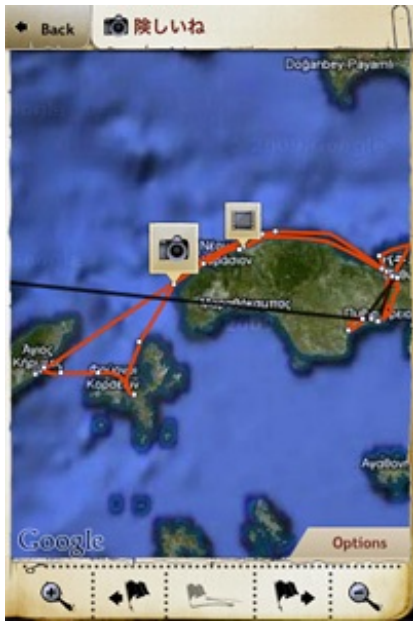


Pension Maria-Elena

このホテルは朝食無しなので17時頃から買い出しへ。
パン屋が軒並み閉まってて焦り、
他のモノをスーパーで買い出した後に
スブラキピタとチーズバーガーまで確保。

その後さっきは閉まったカフェで休憩。
あ！パイをはけーん！
さっきのバーガー類は痛むのが怖いなって思ったから即買い。

こんだけ買い出したので夕食は部屋にて。
スブラキピタを食べながら、お月見しつつ。
電気をつけた部屋の中からののに、木星も良く見えました☆

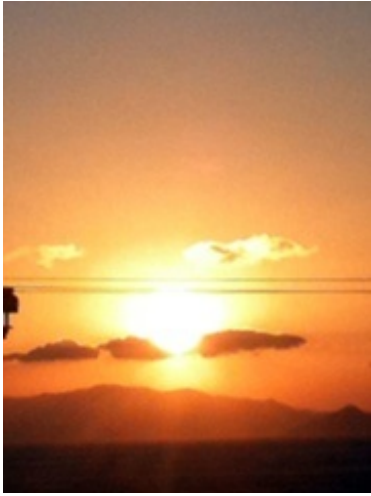


今回の航路(南側)

お散歩お散歩（2010/9/22水曜日）

あさー！

風は相変わらずグオーって感じで吹き荒れてる。



イカリアは、神話のイカロスが墜落した島。

太陽の熱で翼の蠟(orニカワ)が溶けてしまったというが、
この風で失速したのでは？ ←新説w

ハムチーズパイとピリ辛オイルサーディン、
フルーツジュース、パスタ入カップスープが今朝のメニュー。

いつもは遺跡を歩き回ってダイエット状態で帰国する私だが、
今回は増えてるな...。



ホテルから見たイカロスモニュメント

午前10時過ぎ、島内散歩に出かける。

波たかー！風つよー！

ビーチを確認しに行ったら、何かの石像があった。悩む人？



それから港でイカロスモニュメント写真を撮ろうと試みるが、風が強くて海水被るし、写真もブレてそう...

今度は東の方へ、湯治場探しも兼ねて。

ちっこい船着き場の方のバス停、後ろの階段を登った左手。

向かいには警察署なので見つけ易い。

しかし空いている時間が「13時まで」と短くなっていたので、「午後温泉」は無理そうだ。



湯治場

それではと、更に東へと進む。

↓古代ギリシア的宇宙観のイラストw



入港時から見えてた可愛い青屋根教会を通り過ぎ、
もちょっと先に行ってみたら、ズルイくらいの美しい色した入江はけーん！
人が行けないからキレイなんだな、きっと。



結局2時間半位散歩して、
4キロ離れてるといふ隣町テルマまで行っちゃった。
(ズルして高台から見ただけ)



テルマ

歩かざる者、食うべからず。
でもこんだけ歩き回ればOKでショ？

12時半過ぎに町中のタベルナへ。
タコで赤ワインを考えていたケド、無し。
ではエビをよろびく。





これはナイフとフォークでは食べられず、手づかみで食べます。
ワインもクセが無くてんまかったよ。
ふはぁー！お腹いっぱい♡ごちそうさまでした！



デザート

この島は「ディオニソス神の生地」とホメロスが書いているそうだ。
(ナクソス島説もあるよね?)

だからワインが誕生したのもココ。
しかしこれには血なまぐさい話が続いていて、
島の人にはディオニソス神に呪われちゃったんだよな…。

そのせいか、余り大っぴらには見かけなかったな。
メインはやはりイカロスのようです。

一旦ホテルに戻ってから、15時前に海へ。
先客にはじーちゃんばーちゃんが何名も。

しかし強風のため波が荒く、
数メートル先に浮かんで会話してるばーちゃんズのところ
に近づくことすら無理！海岸の岩の如く転がされるだけ。

諦めてタラソセラピーしてまひた。
やはり脂肪量の違いなんだろうか？

風と寒さに敗退してホテルに戻って来たら、にゃことバツタリ。
遊び倒したつもりが、全然足りなかったらしい。

昼に食べたエビの香りを漂わせていたせいもあるのでしょうか？
部屋までついて来てしまい「みゃーん」とドアの外で哀しそうに鳴く。
いたたまれなくなり、明日の朝食用のツナ缶開けちゃった。(笑)

自分でも少し試食してからw丸ごとにゃこ様へ捧げる。
したら他にも3匹来てたよ。

日が暮れてから高台の方へ散歩。
道には、にゃこが続々。

サモスもそうだったけど「道を歩けばにゃこに当たる」って感じで、
猫好きにもオススメの島です！
観光客ズレしてないし、物価もまあまあだし。

夕食は昼間のお隣タベルナへ。
海岸沿いから一步入ったお店は地元の人ばかり。

ドアに貼ってあった英語版メニューを頼りに、
将来の看板娘(小学校高学年)に注文するが、無いモノばかりw
更にイカリアワインの白も無いと。

フェタは有ると言うのでそれと、
折角のワイン誕生の地、ハウスワインの白を頼む。

こちらのワインは2軒とも悪酔いしない。
スッキリしてるなあ。
めてパン付3.5ユーロ！



帰り途、お月と木星、イカモニのトライアングル撮影。



イカロスモニュメント(左下) 木星 月(右上)

ホテルに戻っても部屋からずっとお月見してた。
しゃーわせだなあ！

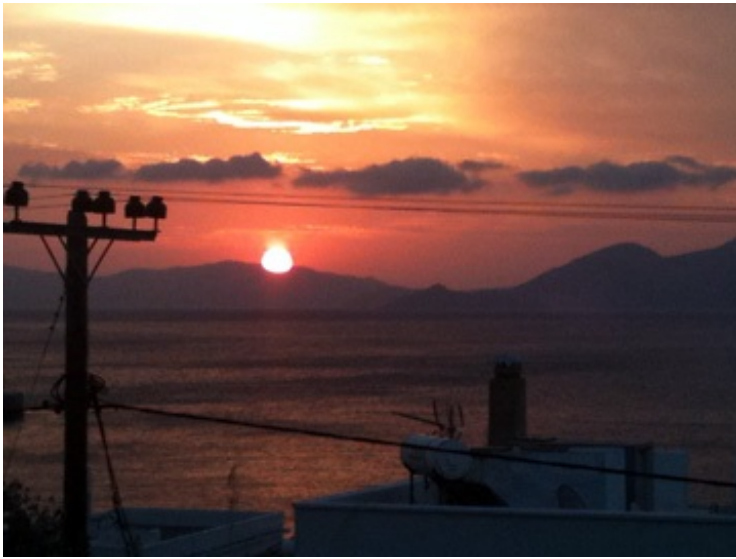
しかし3階だと油断して、窓全開にしてたら蚊が入って来たー！
(室内の照明は最低限)
この旅初めて蚊取り線香点火！



アギオス・キリコス

ピタゴリオンPythagorioへ（2010/9/23木曜日）

6時起き。日の出ー！



風、吹いてる様な、おさまってる様なビミヨーな朝。
船は8時40分発なので15分頃ホテルを出たのだが、
港に出たら既に海上には船！何て正確なんだ。
どうしたギリシア！？←オイ;;

港には10名くらい集まって来てる。
時間通りに出航。
しかし風つよー！そして揺れるー！

一時食堂に避難したけど、匂いに耐えられなくなって甲板に戻る。
とにかくさぶい。
初めてウィンドブレーカー着用。

かなり体温を奪われたので、
救命ボートが収まっている入れ物の上で日向ぼっこ。
しかし時既に遅し。体調崩したみたい。

どうもイカリア島周辺は強風が吹き荒れているようです。
サモスまで戻って来たら「心地よい風」程度なのだ。

イカリア島付近はセイレーン出没？

[サモス島北岸に行く\[動画\]](#)

船はカロ・ヴァシに寄ってから、一気にヴァシへ。
予定よりちと早めの到着。

バス停は、ピタゴリオン行きを待つ人々で一杯。
満席で立ち客も。
バスの本数少な過ぎだぜ、ギリシア。



ピタゴリオン地図

ピタゴリオン着。
バス停横に掛けられた看板で、目を付けてた宿を探すが見当たらず。

「きっとコッチ」と歩き出した途端に
バイクのおいちゃんに声を掛けられる。
1泊だし、もうお任せ。

連れてかれたお宿はバス停からすぐ。
右に曲がった小道の左手にある Pansion Studios Boulas。

競争が激しいんだね。

ヴァロス並の設備を誇りつつも、朝食なしで25ユーロ。

このお値段で泊まれるのは嬉しい♪



荷物を置いたら昼食へ。

14時だからはや食べたいぞよ。

で、海岸沿いの「いかにも」なお店ですが、

取り敢えず腹を満たす。

タコあるからイイのw



体調のせいか、気温が高いからか、

ここの白ワイン、酔いが回るーw

ワインでグルグルなのに、

炎天下を歩き回って夕食用タベルナ物色。(笑)

更にスーパーでお土産食料買い出し。

ここで魚介類の冷凍品を山程はっけーん！

ホテルの部屋で調理出来るので、何泊かしてたら

「一人シーフード祭りwithサモスワイン」を開催してたことだらう。

明日の朝食用パンも、

もうすぐ15時に閉まるパティストリーで買い込む。

うにゃ、完璧！

暑さ避けで、ホテルでちょっと一休みのつもりが、

酔いが取れなくて爆睡。

自分のイビキで目を覚ました記憶もあり...

窓開けっ放しなのに恥ずい！

教会の鐘が鳴る数を何気に数えたら7回。

7時かあー？！

慌てて飛び起きて出かける準備。

地図看板で見た記憶のある遺跡マークの位置を探しながら海岸へ。

うおっ満月ー！きれいだにー



[ピタゴリオン／夕暮れ港](#)[動画]

その後もウロチョロしながら、

「日本時間24日午前9時に一番明るく輝く」という金星ちゃんの写真なんかも狙ってみました。



城塞(左) 時計塔(右)

20時過ぎ、昼間見つけたタベルナへ。
プレートだと量が多いな。

で、飲み物はアルコール諦めて炭酸水。
タラモサラダとイカの唐揚げを注文。
ホント「イカタコエビ」のローテーションだよ、俺。(笑)

にゃこ達と戯れながらの食事。
フライドポテトを置いたら食べてた！猫舌なのにw

量が多いとは思ったが、その通り。
残してしもうた。
胃がいつもの調子だったら、お持ち帰りしたい、
弾力性のある旨いイカだったよ。

デザートにグreekコーヒーも頼んだとです。



21時過ぎまで居座ってからホテルに戻る。
昼間は寂れた印象を受けた町だけど、
夜になったら繁華街へ一変！

あちこちに出没するにゃこにちょっかい出しながら、
ホテルにきかーん！
テラスの隙間からお月が見えた。

夕寝が祟って1時過ぎまで眠れなかった...。
でもホテルの隣、メイン道路側の家屋は
無人の為にゃこ屋敷と化してて。

「みゃーみゃー」鳴く声がしょっちゅう聞こえ
.° °..:。.:。*:.'(*°▽°*)'.*:.:。.:。*:° °.*
な状態で過ごせました♡

サモスを後に（2010/9/24金曜日）

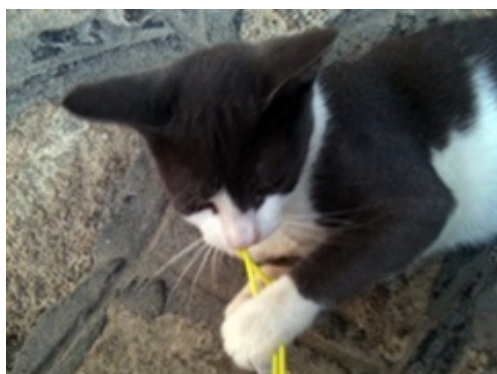
お昼に出ればイイやと、ノンビリ朝食の準備。
テラスで食べるのさ。

ふと気づくと、にゃこ屋敷の屋根ににゃこが！
余りにかばいいので、しまい込んだデジイチ組み直して撮影。
そして食後はひたすら荷物詰め。

11時45分頃部屋を出て支払い。
日本人第1号みたいなこと言ってた。
友達に紹介するよ！リアルでなくてネットでw



ホテルのにゃこ君、すっげえヤンチャ。
あいぽんのネックストラップをチラチラさせたら、
俄然夢中になり離さない！噛み切られるかとおもたw



もう行こうと立ち上がったら、今度はにゃこジャンプかまされました！

タクシーで空港まで行くつもりだったのに、
進行方向から車が次から次へと通るので先に進めない。
短気起こして歩きで向かう。

でも、途中に散在する遺跡を見られたー！
搭乗時間まで1時間を切ってるというのに、
つい立ち止まり写真を撮ってしまう。



浴場跡

他にもアルテミスの神域とかが有った。
楠見さんが『[癒しの旅 ギリシア・エーゲ海](#)』で書いていた
「海岸沿いの道で見かける発掘中の遺跡」ってこれかな？
ガイドブックに記載が無いから知らなかったよ。

最後の最後に遺跡の見送りを受けて、遺跡オタしゃーわせ♡
だが「暑いし遠いし時間はないし」で、
徒歩を後悔しかけた12時半頃に空港到着。
既に汗ビッシヨリだぜよ。←オバカ

この空港の出発ロビーが面白い。

入ったらすぐにX線に荷物を通し、それから搭乗手続き。

また待合室のほうに戻って、更にX線。

何故こんな動線にしたのか謎である。

時間が時間だったので、13時20分過ぎには搭乗時間となる。

うっ！またボンバルディア機です～Σ（°Д°Ⅲ）

帰国まで

アテネに着き、預け荷物が出てくるのを待つ間
iPhoneのWi-Fi設定を色々いじってみたら、
空港のフリーWi-Fiに接続成功！

これで19時半発の乗り継ぎ便まで退屈せずに済む一♡と思ったら、
時間限定で45分間のみ。ナニコノハンパナジカン？

エレフテリオス・ヴェニゼロス国際空港到着ロビー階に出て、
建物右手端に有るケーキ屋さんでは[レオニダス](#)のチョコを扱ってます♪
控え目に(?)板チョコ3枚購入。

それから出発階へ。
あれ？暗いなあ。気温は20度らしい。
現在の東京と同じ位？

どんより曇り空なので、
南エーゲ海で焼かれた身(目?)には同じ南欧州とは思えまへん。

表示はまだ出て無かったが、17時過ぎたのでチェックインカウンターへ。
ビンゴ！やはり搭乗時刻の2時間前から手続き開始のようだ。

さっさと出国手続きを済まし、珍しく免税店を覗く。
オリーブペーストとか食料が欲しかったけど、
まだ2回乗り換えがあるので我慢。

セキュリティチェックの現場は大忙し。
必死で働いてるギリシア人を見たければここへドゾ！(笑)

待合室に入るも、まだ機が来てねーじゃん！

結局、イスタンブール行きは1時間遅れで出発。
機体には、バスケットチームの絵が描かれてた。
さすが準優勝チーム！

...ん？まじやか、これ描いてたから遅れたの？

機内サービスが始まるのが遅い。
来てもにーちゃんノ〜ンビリやってる。

そこへベテラン風ねーちゃん登場！
バシバシサーブしていきます。
それでも、食べるのかなり急がされたよ。

この路線は飛行時間が短いんだから、
ノンビリやってちゃ駄目だよにーちゃん！

メニューは鳥肉サラダとツナサンド、リンゴケーキ。
余りにバタバタと食べさせられたので写真撮り漏れた...;;

イスタンブールに到着しトランジット～
空港のフリーWi-Fiは繋げ方が分からなかったよ。

さて買い出し。
オリーブ系を中心に、あれこれ食料品をレジに持って行ったところ、
日本国内線乗り継ぎが分かるや否や没シュート！

前はオリーブオイルだって大丈夫だったのにい～！
お金52TLも残ってしもうた。(>_<)
今度来る時まで価値下がらないでね、トルコリラ。←無理！(爆)

没シュートショックでそのまま登場口へ。
出発は10分程遅れた。

滑走路をユックリ動き出したトコロまでは覚えているが、
飛び立った事は記憶に無し！

翌25日の夕方に関空着。

コンタクトを入れる前に歯磨きしようと、洗面所へ。

「自動」と書いてある蛇口で湿らせる。あり？苦い。

うがいをしようとして気づく。

何で水が出る方が小さくて表示が消えてるの？！

到着早々、石鹸で歯磨きしてもうた...orz

関東とは表示が反対なんだね...

関空ではソフトバンクは圏外。

無料Wi-Fiが使えるのでネットには繋がったけど。

何だかんだ言われてる空港だけど偉い！

復路もスターフライヤーの機体。今度はガラガラでした。

チョコが食べたくて&頭をスッキリさせておきたくてコーヒーを所望。

羽田では、またバスで建物に移動だったので、

21時過ぎのバスぎりぎり～！5分位しか余裕なかったよ。

空港バスから地元駅まで。降りるとさぶー！

駅のホームを行き交うギャルはムートン履いてるう！？

14日の出発日は35度近くあったのに、同じ国に戻って来たとは思えない。

日焼け止め用のマフラーで寒さ避け。

23時半前に帰宅しました。

サモスのお宿を出て大凡30時間。

私的事件は有りましたがw無事到着しました。

旅の間ネットに接続出来たお陰で、
ほぼリアルタイムで多くの方からリツイート頂けて楽しかったです。

今回の旅のまとめ☆

気になったことをざっと箇条書きにしてみた。

旅行中はiPhone用アプリ

無料版「旅マネ」と、有料版の「Trip Journal」を酷使。

まだ所々使いにくい所はあれど、
前者のお陰で毎晩残金を確認しなくて済んだ。

後者のトラックルートやウェイポイントを使用すると[こんな感じ](#)。
地図で確認するのが楽しいよ♪
旅行記の地図画像は、このアプリを使用してます。

そして超方向音痴なのでデフォルトのアプリ「マップ」が重宝！
海外パケホ対象国だったので、迷った時は安心してGPSとともに使用。

今回はインフォメの恩恵を受けられなかったので、
これが無かったらどうなっていたことが...くわばらくわばら

ギリシアのバスがやたら使いにくいのは、
タクシーと共存する為では？と、思う今日この頃。（笑）
数時間に1本しかないバスでは
長期滞在でもしてないと、使うの辛いのよん！

この旅の途中で無くしたモノ。
南京錠とクシャダス上陸時にもろたナザールボンジュ。

壊れたモノ。
液体洗剤の入れ物のフタ(底が抜けた)と、
キャリーケースの片方のタイヤ。
↑ これのせいで荷物を転がすのが一苦勞でした！

ギリシアの博物館や遺跡は、相変わらず15時に閉館。

なので一番日射しと紫外線が強い時間帯に活動せざるを得ない。

日照時間が長い季節くらいは、もう少し開館してて欲しいな。
シエスタとってもええからさっ。

島は、アテネと同じ国とは思えない位のほほんとしてます～
心なしか、喋るスピードも遅い様な...

「日本もギリシアみたいになるぞ！」とか脅されてるけど、
この旅で見た人々の目は日本人ほど淀んでいないし、
赤ん坊連れでも家族でバカンスを楽しんでるし。
「果たしてどっちが幸せなの？」って思うのでありました。

[参考サイト]

[Greek Island Holidays](#)

[Samos Guide](#)

[Travel-To-Samos.com](#)

[All Hotels on Samos island, Greece](#)